

平成30年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	24-1	学校名	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校				課程	全日制		学校長名	藤田 知 巳					
教頭名	萩原 明子								事務(室)長名	遅塚 朱美						
教職員数	教諭	12	養護教諭	1	常勤講師	0	非常勤講師	1	実習教諭、実習講師、実習助手	0	事務職員	2	技術職員等	2	計	21
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計	クラス数			
	普通科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
		24	10	23	9	17	12			64	31	95	3			

2 目指す学校像

県立水戸桜ノ牧高等学校常北校として、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題
学習指導	一人一人が輝く活躍の実施も定着させる。学力の向上を図るが、学習の場では理解できず、落ち着いた内容に課題を	教員の授業力の向上を図りながら、基礎学力を定着させるとともに生徒に達成感を与える。学習意欲を喚起する必要がある。
進路指導	平成29年度の進路状況（卒業生32名）は、進学12名、就職19名である。よりよき進路選択をするための育成が	進路ガイダンスやインターンシップの全員実施を通して、低学年からキャリア教育を推進し、進路意識を高める必要がある。
生徒指導	生活態度の生徒が大半であるが、一部の生徒の生活習慣や規範意識の涵養と、基本的な生活習慣の育成を図る必要がある。	授業開始時に頭髪・服装指導を行い、好ましい学習環境づくりを行うとともに、自立に向けた基本的な生活習慣の育成を図る必要がある。
特別活動	1年生の1学期全員の研修・修学旅行・クラブ活動など、生徒の積極性を育てる必要がある。	1年生を含む部活動を全教員で指導し、放課後の活動を充実させるとともに、生徒の協調性や積極性を育てるホームルーム活動を行う必要がある。

4 中期的目標

1	学校行事を精選し、授業時間を確保するのと同時に、1時間、1時間の授業の充実を図る。
2	授業や特別活動等を通じ、心を育むとともに、マナー、マナー、マナーを身に付けさせる。基本的な生活習慣の確立を図る。
3	挨拶の励行を促すとともに、遅刻、遅刻、遅刻を身に付けさせる。
4	部活動への加入を促進して、学校生活に生き生きとした姿を見せさせる。体力・体力の向上を図る。
5	国際理解教育を推進して、国際社会に生きる人間の育成を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学力の向上と定着	① 創意工夫を凝らし、教材研究や教員相互の積極的な授業研修等を通じて、よりよい授業を展開する。 ② シラバス・習熟度別授業の有効活用を図り、計画的・継続的な学習をさせる。 ③ 少人数・服装や遅刻・終了時の挨拶を徹底して、基礎学力を向上させ、定着させる。
2 基本的な生活習慣の確立	④ 頭髪・校回りの計画的な面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携等を通して ⑤ 登下校の計画的な面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携等を通して ⑥ 3年生3年間を見通した計画的なキャリア教育を実践する。
3 希望する進路の実現	⑦ キャンパス・職場見学、インターンシップ、各種講演会、各種講習会等により ⑧ 進路意識を高め、高揚させる。 ⑨ 学力向上と高揚させる取り組みや資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を目指す。
4 特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑪ 生徒の積極的な参加を促して、望ましい人間関係をつくり、充実した学校生活を送らせる。 ⑫ 他者の命を尊重し、思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。
5 地域から信頼される学校づくりの推進	⑬ ホームページや地域広報誌、学校新聞等のPR手段を十分に活用して、保護者・地域に積極的に情報を提供する。 ⑭ 学校評議員や近隣中学校等の意見を参考に、地域と連携した教育活動を展開する。 ⑮ 学校公開を計画的に実施して、本校に対する地域の理解促進を図る。 ⑯ 2年度から分校化に伴い、分校としての特長を活かしながら地域との連携を図る。